



平成28年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年5月13日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 三光マーケティングフーズ
 コード番号 2762 URL <http://www.sankofoods.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平林 隆広

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営管理本部長 (氏名) 池口 孝

TEL 03-5985-5711

四半期報告書提出予定日 平成28年5月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年6月期第3四半期の業績(平成27年7月1日～平成28年3月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年6月期第3四半期	10,303	△5.7	215	—	263	—	222	—
27年6月期第3四半期	10,929	△27.2	△100	—	6	—	△420	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年6月期第3四半期	15.47	—
27年6月期第3四半期	△29.21	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年6月期第3四半期	11,386	8,215	72.2
27年6月期	11,551	8,227	71.2

(参考)自己資本 28年6月期第3四半期 8,215百万円 27年6月期 8,227百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年6月期	—	8.00	—	8.00	16.00
28年6月期	—	8.00	—	—	—
28年6月期(予想)	—	—	—	8.00	16.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年6月期の業績予想(平成27年7月1日～平成28年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,500	0.1	200	—	250	—	200	—	13.90

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年6月期3Q	14,387,000 株	27年6月期	14,387,000 株
28年6月期3Q	— 株	27年6月期	— 株
28年6月期3Q	14,387,000 株	27年6月期3Q	14,387,000 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点(平成28年5月13日付)において、金融商品取引法に基づくレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間(平成27年7月1日～平成28年3月31日)におけるわが国経済は、政府の経済政策や日銀の金融政策により、企業収益や雇用環境の改善傾向が続き、全体としては緩やかな景気回復基調で推移しました。しかしながら、中国を始めとする新興国や資源国の景気減速、日銀によるマイナス金利導入等の影響もあり、経済環境は依然として不透明な状況が続いております。

外食業界におきましては、訪日外国人の増加による客数押し上げ効果がみられるものの、実質的な所得水準の低下や物価上昇の影響により、お客様の消費節約意識は依然として根強く、外食への消費支出は低調に推移しております。

お客様は、「希少・特別・新しさ」や「上質・プレミアム性」の価値を評価する傾向にあり、単なる「モノ消費」だけでなく、「コト体験」を求めるようになってきております。

このことから、この変化するお客様のニーズに俊敏に対応し、個々の商品、メニュー構成を見直すとともに、店舗空間・接客の質的レベルアップに取り組み、変化に対応することが重要な施策になってきております。

また、「円安による原材料価格の上昇」、「人件費の上昇」といったコスト増加要因のみならず、「食の安心・安全への関心の高まり」、「業種・業態の垣根を越えた競争の激化」など、業界は様々な課題に見舞われており、これらの課題に対する、きめ細かく俊敏な対応が必要となってきております。

このような中、市場環境・競争環境の変化に、それぞれの業態・店舗、また商品やサービスを適合させていくことが重要であると捉え、

- ① 既存の各業態のコンセプトを、お客様起点から再定義し、そのコンセプトをそれぞれの店舗で具現化するための様々な施策に取り組んでまいりました。

業態転換の実施、差別性のある商品の開発や、接客サービスの見直し、さらに、今後ますます「人材力＝企業力」となっていくことが必至であることから、調理やサービスといったオペレーション教育にとどまらず、当社の理念を浸透させていくべく従業員教育を実施してまいりました。

- ② 低投資・高投資回転業態で、堅調に推移している「専門型小規模店舗」の拡大にむけて、焼き鳥をメインに据えた本格品質の大衆酒場「アカマル屋」を拡大するとともに、一方で次代に向けて、生パスタと厳選ワインを気軽に楽しめる「元祖壁の穴」、今までにない安心・安全な厳選素材を使用し、店内で炊き上げた「今までにない本物の“カスタード”」をお客様に味わっていただきたい」との思いで立ち上げた、「Custard Lab Tokyo」等、様々な実験を行ってまいりました。

店舗の出店および退店等につきましては、10店舗の新規出店、3店舗の業態転換、また契約満了等により7店舗の閉店を実施しました。

以上の取り組みにより売上高は堅調に推移したものの、前年度に大幅店舗再編を実施したことから、103億3百万円(前年同期比5.7%減)となりました。営業利益につきましては、継続的な改善傾向にあり、2億15百万円(前年同期は営業損失1億円)、経常利益は2億63百万円(前年同期は経常利益6百万円)、当四半期純利益は、2億22百万円(前年同期は四半期純損失4億20百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における流動資産は、45億69百万円となり、前事業年度末に比べ、5億7百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が増加したことによるものであります。固定資産は68億16百万円となり、前事業年度末に比べ、6億73百万円減少いたしました。これは主に、差入保証金の回収及び子会社を吸収合併したことに伴う関係会社株式の減少によるものであります。この結果、総資産は113億86百万円となり、前事業年度末に比べ、1億65百万円減少いたしました。

当第3四半期会計期間末における流動負債は、17億65百万円となり、前事業年度末に比べ、1億45百万円減少いたしました。これは主に、資産除去債務の減少によるものであります。固定負債は、14億5百万円となり、前事業年度末に比べ、8百万円減少いたしました。これは主に、その他固定負債の減少によるものであります。この結果、負債の部は、31億70百万円となり、前事業年度末に比べ、1億53百万円減少いたしました。

当第3四半期会計期間末における純資産の部は、82億15百万円となり、前事業年度末に比べ11百万円減少いたし

ました。これは主に配当金の支払等によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年6月期の業績予想につきましては、平成28年2月12日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成27年6月30日)	当第3四半期会計期間 (平成28年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,487	3,992
売掛金	116	206
原材料	28	32
前払費用	300	269
その他	129	67
流動資産合計	4,061	4,569
固定資産		
有形固定資産		
建物	4,240	4,417
減価償却累計額	△2,534	△2,581
建物(純額)	1,706	1,836
工具、器具及び備品	950	1,016
減価償却累計額	△839	△867
工具、器具及び備品(純額)	110	148
土地	942	942
建設仮勘定	-	1
有形固定資産合計	2,759	2,929
無形固定資産	41	29
投資その他の資産		
関係会社株式	253	33
差入保証金	4,062	3,494
その他	375	338
貸倒引当金	△3	△8
投資その他の資産合計	4,687	3,857
固定資産合計	7,489	6,816
資産合計	11,551	11,386

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成27年6月30日)	当第3四半期会計期間 (平成28年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	547	553
未払金	295	202
未払費用	484	462
未払法人税等	51	67
未払消費税等	154	56
前受収益	216	267
役員賞与引当金	-	15
設備関係未払金	6	62
資産除去債務	120	10
その他	34	68
流動負債合計	1,910	1,765
固定負債		
繰延税金負債	155	154
退職給付引当金	107	116
資産除去債務	739	769
その他	411	364
固定負債合計	1,414	1,405
負債合計	3,324	3,170
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,390	2,390
資本剰余金	2,438	2,438
利益剰余金	3,395	3,388
株主資本合計	8,225	8,217
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1	△1
評価・換算差額等合計	1	△1
純資産合計	8,227	8,215
負債純資産合計	11,551	11,386

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間 (自平成26年7月1日 至平成27年3月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成27年7月1日 至平成28年3月31日)
売上高	10,929	10,303
売上原価	2,754	2,631
売上総利益	8,175	7,672
販売費及び一般管理費	8,275	7,456
営業利益又は営業損失(△)	△100	215
営業外収益		
受取利息	0	0
受取賃貸料	17	17
受取配当金	0	0
貸倒引当金戻入額	0	0
保険解約返戻金	113	27
その他	6	10
営業外収益合計	138	56
営業外費用		
支払利息	0	—
賃貸費用	5	5
その他	26	2
営業外費用合計	31	7
経常利益	6	263
特別利益		
固定資産売却益	16	0
受取和解金	0	—
抱合せ株式消滅差益	—	25
特別利益合計	16	25
特別損失		
固定資産売却損	0	—
固定資産除却損	13	—
店舗閉鎖損失	35	14
減損損失	334	15
その他	43	0
特別損失合計	427	31
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△403	257
法人税等	16	35
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△420	222

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社においては、飲食事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。